

市民交流複合施設関係団体等  
意見交換会報告書

令和3年5月

市民交流複合施設関係団体等意見交換会



# 目 次

1	意見交換会の目的	1
2	開催日時・参加者数	2
3	意見交換会参加者	2
4	第1回意見交換会の概要	3
	(1) 市民交流複合施設に係る経過報告	3
	(2) 財政見通しについて	3
	(3) 参加者意見交換	4
5	第1回意見交換会後のアンケートによる意見	5
6	第2回意見交換会前の意見調査	6
7	第2回意見交換会の概要	7
	(1) 財政見通しについて	7
	(2) 公共施設の整備の優先度について	7
	(3) 参加者意見交換	8
	(4) 意見調査の実施	9
	(5) 意見交換会の終了について	10
8	まとめ	10

# 1 意見交換会の目的

湖西市ではこれまでに、市民会議<sup>(i)</sup>の提言に基づく「市民交流複合施設」の建設事業のロードマップ（下記表参照）に基づき、2029年4月供用開始に向けた取り組みが行われてきました。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、湖西市においても大幅な税収減が見込まれ、社会経済情勢の変化に伴うロードマップの見直し（軌道修正）が必要である、との見解が市から示されることとなりました。

こうしたことを踏まえ、市民交流複合施設の今後の方向性などの意見を集めることを目的に、市が市民及び各種団体へ呼びかけを行い、「市民交流複合施設関係団体等意見交換会」が開催されることとなりました。

実施内容	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度～2025年度 (R3～R7)	2026年度～2028年度 (R8～R10)
各種団体等との意見交換	■			
立地適正化計画との調整	■	■		
基本構想策定に向けたワークショップ開催 (準備・市民との意見交換、視察等の実施)		■		
基本構想の策定・説明会の開催・公表		■		
建設場所の決定・用地の確保		■	■	
事業手法の検討 (市場調査・PFI導入可能性調査・事業者の決定)			■	
基本設計の作成・ワークショップ・公表・説明会			■	
実施設計の作成			■	
工事説明会の開催			■	
建設工事				■
			道路築造・敷地造成工事	建設・外構工事

2029年4月供用開始予定

(平成31年3月27日策定)

(i) 平成30年度に開催された湖西市（新）市民会館等複合施設建設検討市民会議

## 2 開催日時・参加者数

回	日時	会場	参加者数
第1回	令和3年3月20日(土) 10:00～11:40	新居地域センター 2階大会議室	21名
第2回	令和3年4月24日(土) 10:00～11:30	新居地域センター 2階大会議室	19名

## 3 意見交換会参加者

No.	団体名等	氏名
1	平成30年度 湖西市(新)市民会館等複合施設 建設検討市民会議参加者	福井 隆
2		平山 菊代
3		菅沼 敦子
4		山本 真由美
5		渥美 嘉章
6		中村 真代子
7		佐原 美幸
8	湖西市教育委員会教育委員	袴田 雄司
9	湖西市文化協会	菅沼 義也
10		吉山 学
11	湖西市及び新居町商工会代表	柴田 和利
12	湖西市自治会連合会	板倉 福男
13		疋田 隆
14	浜名湖青年会議所	佐原 大介
15		土屋 圭市
16	Kosai.Saiko.Labo 代表	笹瀬 優介
17		小坂 隼海
18	湖西高等学校代表	桑子 寛基 (第1回目参加)
19		佐藤 誠哉 (第2回目参加)
20	新居高等学校代表	疋田 冬輝
21		岩崎 勇真
		細田 妃七夕

## **4 第1回意見交換会の概要**

### **(1) 市民交流複合施設に係る経過報告【市説明】**

- （新）市民交流複合施設建設に係る経過について
- 湖西市（新）市民会館等複合施設検討市民会議報告書概要
- 市民交流複合施設建設事業ロードマップについて

### **(2) 財政見通しについて【市説明】**

- 令和2年法人市民税は昨年度よりも10億円以上減収の見込み。
- 今後もコロナの影響により市税全体の増収が見込めず厳しい財政状況。
- 今後10年間の複合施設建設事業費を仮定し算出した見込額は214億円。
- 今後10年間の既存施設の建替えや改修の事業費を仮定し算出した見込額は85億円。

### **(3) 参加者意見交換**

- 市民会議の提言には文化協会の意見が入っていない。市民交流複合施設のホールは数百席程度よりも大きい規模を希望する。
- 湖西市をPRできる施設があるとよい。
- ふれあいの価値観が変化してきている。直接会わなくてもふれあいができる時代。次世代に何が残せるか改めて方向性を考えていきたい。
- 今ある施設すべてが改修や建替えの時期になるときに財政はさらに厳しくなる。やるべきものと延ばしてもよいものを議論すべき。
- 湖西市の魅力や文化を発信することは重要であるが、人口減少や財政面を考えないと、行政サービスの質が落ちてしまう。持続可能な計画が必要。
- 市民交流複合施設が負の財産になってしまわないよう、次世代に残すものについて慎重に議論すべき。
- 市の庁舎を複合化するの賛成であるが、防災の拠点を複合施設に含めるかどうかは議論が必要。
- 財政の厳しさから白紙に戻しても良いと思う。
- 小中学校の改修に多くのお金が必要になる。市民交流複合施設がある方が良いが、施設をたくさん建てて、後が困るようではいけない。
- 浜松や豊橋にある施設を利用してもよい。
- 今あるものを最大限活用し、知恵を使って、文化を守る方法もあると思う。
- ニーズも変化するため、何が必要か改めて考えていくべき。
- 計画を白紙に戻すのであれば、多くの人の意見を聞いて、どのような施設をつくるべきか、もっと時間をかけて進めるべき。
- 白紙も踏まえて柔軟に考えていくべき。10～20年後のシミュレーションを出して、予算内で何ができるか、皆さんの意見を聞くのがよい。
- 湖西市としてやっていくべきことは市民交流複合施設だけではない。市民交流複合施設の優先度が高いのか、市から示してほしい。
- コロナ禍の状況が続いて、市民交流複合施設に市民が集まるのか不安。
- 財政が厳しいのはわかるが、高齢者の楽しみがないと人口は増えないと思う。高齢者の楽しみである子どもたちの発表の場が必要。
- 湖西市に魅力がないと人口は増えない。お金がないから市民交流複合施設をつくらないのではなく、アイデアを出し合って、ホールだけでなく多目的な施設にすれば魅力が残ると思う。
- 目指しているのは住んで良かったと思ってもらうこと。職住近接の取り組みを継続して行ってほしい。財政面の問題もあると思うが、話し合っていきたい。

## 5 第1回意見交換会後のアンケートによる意見

- 計画の軌道修正が必要であることが共通理解されたと思う。
- IT化が進み、コロナ終息後の社会構造の変化が見通せない中、人を集める施設が必要なのか、今一度見直す必要がある。
- コロナの影響で困っている人が多い。市民交流複合施設に多くの財源を投資するよりも、持続可能性を考慮し、既存施設の有効活用を考えるべき。
- 幅広い世代の方に向けた市民交流複合施設の建設は賛成。市民にとって良い施設が一番。
- 市民交流複合施設に、市役所庁舎、市民会館、鷺津小中学校、幼稚園を同時に建替えるのでは財源の見通しがたたない。
- 市民交流複合施設の必要性はあるが、今は大規模施設を建設する時期ではない。将来の検討課題として残しておくのがよい。
- 平成30年度市民会議での意見を基にした計画を白紙に戻すべきではない。
- 今後の大幅な減収見込みや財政状況の悪化から、市民交流複合施設の建設は「負の財産」になり行政サービスの低下につながりかねない。市民交流複合施設は建設不要で、既存施設の建替え・改修を望む。
- アフターコロナの都市部からの人の移住を見すえて、市民交流複合施設よりもテレワークができる個室等を整備するべきと思う。
- 市民交流複合施設の計画を含めた今後の事業に優先順位を付け、進めていくべきである。
- 財政の見通しが厳しい中、建設方針は白紙に戻すことが必要であり、市の財政健全化が重要と考える。
- 災害への対応など将来に必要となる財政調整基金残高のシミュレーションを基に議論したい。
- 財政状況が今後の減収により大変であることはわかるが、中長期的な財政計画から、どの程度なら建設可能と判断できるのか。
- 市民ホールは既存施設の改修で良い。他市のホールの活用でも良い。
- 必要に応じて既存施設の改修を進めることが現実的であると思う。
- 湖西市は浜松と豊橋に挟まれ、文化の谷間と言われ、文化や芸術、芸能を愛する市民が多く、他市のホールでやればよい、という問題ではなく、湖西市から発信し、周囲を巻き込む活動をしなければ、湖西市の未来は暗い。文化、教育の中核になる施設がないのは残念。
- 市民交流複合施設はどこに建てても交通面で利用が困難な市民が出てしまうので、移動が困難な市民の利便性の検討も同時に進めるべきだと思う。
- 新居地域センターを使いやすいように改修することも良いと思う。
- 市役所の庁舎機能は、防災の観点から警察署や消防署に隣接している方が機能的である。



- 自分たちの住むまちを人（市政）まかせにしないで、みんなで考えることが必要。
- 防災本部機能がある市役所は現在地での建替えて良いと思う。
- 意見交換会は必要なく、行政が「財政面から建設を中止する」ということでいいと思う。意見交換会で意見集約し、建設中止を市民のせいにするのは理解できない。
- 今回の見直しの方向性をまとめるのは難しいと思うので、市からたたき台を示してほしい。

## 6 第2回意見交換会前の意見調査【市実施】

今後の意見の論点を明確にするため、第1回意見交換会の意見やアンケートによる意見を基にした調査を市が行い、次のとおりの結果であった。（21人中19人回答）

### 第2回意見交換会前 意見調査結果

令和3年4月19日時点

問1 平成30年度市民会議の報告書に基づく「市民交流複合施設」の計画について、「見直す」意見と「見直さない」意見が出ています。  
あてはまるものに○をつけてください。

- ア. 「見直す」方がよい……………14人
- イ. 「見直さない」方がよい……………5人

問2 仮に市民ホール機能を含めた「市民交流複合施設」の整備する場合も、まだ多くの年数が必要となります。そのため、整備までの間、既存の市民ホール（新居地域センターなど）を改修（リニューアル）した方が現実的である、という意見もアンケートでいただきました。  
このことについてどのようにお考えですか。  
あてはまるものに○をつけてください。

- ア. 改修工事を行い、使いやすくする必要がある……………10人
- イ. 改修工事の必要はない……………9人

問3 平成30年度市民会議では、防災本部機能を持つ市役所庁舎が「市民交流複合施設」に想定される機能として報告書に挙げられました。  
そして今回いただいたアンケートでは、「市役所庁舎の建替へは、湖西警察署や消防署が集まる現在地の方が良い」という意見もいただきました。  
このことについて、どのようにお考えですか。  
あてはまるものに○をつけてください。

- ア. 防災本部機能を持つ市役所庁舎は、現在地で建替える方が良い……………11人
- イ. 防災本部機能を持つ市役所庁舎は、複合施設と一緒にあった方が良い……………7人
- （書込み意見）どちらでもよい……………1人

## **7 第2回意見交換会の概要**

### **(1) 財政見直しについて【市説明】**

- 10～20年先の財政シミュレーションを基に説明。
- 市民交流複合施設を建設した場合
  - ・鷺津小中学校の建替えや体育館、プール、グラウンドの配置換えが必要となり、事業費が214億円と大きくなる見込み。
  - ・市の借金は令和11年度に現在のほぼ倍の323億円の試算となり、毎年莫大な借金返済が必要となる。
  - ・令和15年度には市の貯金である財政調整基金残高がゼロになる見込み。
- 既存施設の建替え・改修をした場合
  - ・防災本部機能を持った市役所の建替えや鷺津小中学校の改修を見込み、事業費は85億円の見込み。
  - ・市の借金は令和11年度に229億円の試算となり、毎年の支払いは、ほぼ横ばい。なんとか財政基盤は保たれる見込み。

### **(2) 公共施設の整備の優先度について【市説明】**

- 市民交流複合施設の建設を2029年4月供用開始に向けたロードマップのとおり進めていくことは、大変厳しい。
- 環境センターの再稼働に向けた改修は、現在実施中。
- 次に整備、建替えの優先度が高い事業は、「消防庁舎建替え事業」と「給食センター整備事業」で、準備に向けて動き出している。
- 小中学校の校舎も老朽化が激しいため、大規模改修を考える必要がある。
- 次に優先度が高い事業は、老朽化が進行している市役所の建替え事業であり、市民交流複合施設建設よりも優先度を高く位置づける考え。

### (3) 参加者意見交換

(1)及び(2)の市の説明を踏まえた上で、「市民交流複合施設の計画の見直し」「新居地域センターの改修の必要性」「防災本部機能を持つ市役所調査建替え」の3点の意見交換を実施した。

#### ① 市民交流複合施設の計画の見直しについて

- 持続可能な計画につくりかえるべき。優先度の高い事業を行うと、予算がない。
- 財政が厳しいことは理解しているが、市民会館は欲しい。複合施設ができるまでは、新居地域センターの改修をして使えるようにしていただきたい。
- 意見調査結果をみると、見直すしかないと思う。
- 整備に当たっては、寄附やふるさと納税を考えてはどうか。

#### ② 新居地域センターの改修工事の必要性について

市民交流複合施設の整備時期の見とおしがたたない状態を仮定し、意見交換を実施した。

- 新居地域センターの改修は必要ないと思う。複合施設の計画は白紙に戻すべき。
- 複合施設の計画は見直すべきで、新居地域センターはできる範囲での改修は必要だと思う。文化施設があり、そこを拠点として活動があり、市が活発化し、市の魅力が増していく側面も忘れてはいけない。
- 新居地域センターは最小限の改修で良い。財政面を考えると、高望みはできない。
- 高齢者の生きがいは文化・芸術活動である。複合施設が難しいのであれば、新居地域センターの改修は必要である。
- 複合施設を整備した場合、市は借金を抱えることが想定され、今の子どもたちが将来負担することになる。借金をしてまで子どもたちが望んでいるのか。複合施設の整備により人口が増えるのか疑問である。既存施設を改修することが優先である。

#### ③ 防災本部機能を持つ市役所庁舎建替えについて

市民交流複合施設の整備時期の見とおしがたたない状態を仮定し、意見交換を実施した。

- 市役所を建替える中で、複合施設や防災機能を加えて検討する必要がある。
- 市から「消防庁舎建替え事業」の説明があったが、消防庁舎は現在地が良いと思う。そして、市役所庁舎も、市内どこからでも車を利用して15分くらいの場所で警察署や消防署が近い方が良い。

#### (4) 意見調査の実施

参加者が第2回意見交換会での市からの説明や他の参加者の意見を聞き、現時点でどのような意見を持っているかの調査を実施した。結果は次のとおりであった。

### 第2回意見交換会 意見調査

問1 平成30年度市民会議の報告書に基づく「市民交流複合施設」の2029年4月供用開始の計画は、財政上、大変難しい状況となっています。  
計画の見直しについて、どのようにお考えですか。  
あてはまるものに○をつけてください。

ア. 計画を見直すことが必要……………18人

イ. 計画の見直しは必要ない……………1人

問2 （市民ホール機能を含めた「市民交流複合施設」の整備時期が、見とおしがた  
たない状態であると仮定してお答えください。）

新居地域センターに対して、既存施設の有効活用策の一つの案として、ホールをはじめとした施設内のバリアフリー化や使いやすさの改善を図るための改修（リニューアル）を実施することについて、どのようにお考えですか。  
あてはまるものに○をつけてください。

ア. 改修工事を行い、使いやすくしてほしい……………13人

イ. 改修工事の必要はない……………6人

問3 （防災本部機能を持つ市役所庁舎を含めた「市民交流複合施設」の整備時期が、  
見とおしがたない状態であると仮定してお答えください。）

第1回意見交換会後のアンケートでは、「市役所の庁舎機能は、防災の観点から湖西警察署や消防署が集まる現在地の方が良い」という意見もいただきました。  
市役所庁舎については老朽化が進行していますが、庁舎建替えについて、どのようにお考えですか。  
あてはまるものに○をつけてください。

ア. 防災本部機能を持つ市役所庁舎は、現在地で建替える方が良い……………18人

イ. 防災本部機能を持つ市役所庁舎は、複合施設と一緒にあった方が良い  
……………1人

## **(5) 意見交換会の終了について**

市民交流複合施設の計画の見直しに関する多くの意見が集まり、また調査項目に対する参加者の意見の確認ができたことから、意見交換会を終了することを諮り、第2回で終了することとした。

## **8 まとめ**

今回の意見交換会は、市が市民交流複合施設の今後の方向性を検討するため、様々な立場の人から広く意見を伺いたいという趣旨に基づき開催された。新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な税収減が見込まれることなどから、市民交流複合施設建設ロードマップのとおり進めていくことが大変厳しい状況であることについての市の説明を理解した上で、文化・芸術などの観点からロードマップの見直しや新居地域センターの改修の必要性の意見交換を行った。

意見交換会においては、議論によって方向性を決定するのではなく、自由に発言し意見することにより、多様な意見を交換することができた。

以上を踏まえ、市においては、本報告書のとおり多様な意見があるということを理解いただいた上で、財政運営や財政見通しをしっかりと吟味し、持続可能な行財政運営に向けて推進していただくとともに、市民交流複合施設のほか、各種公共施設の今後の方向性の検討を進め、実行に移していただきたい。

以上

